

筑後川水系切通川 広域河川改修事業

神崎市、みやき町、上峰町

(再評価実施後5年が経過)

位置図



事業目的

流下能力不足による浸水被害が発生

平成2年7月洪水

浸水戸数 127戸

浸水面積 270ha



○浸水被害の軽減を図る

・流路是正、狭窄部解消を実施

・治水安全度の向上を図る

計画流量 $190\text{m}^3/\text{s}$

計画治水安全度 1/50

平成9年7月7日～8日（梅雨前線豪雨） 切通川

切通川 北茂安町中津隈



(国道264号より上流)

(鳥栖土木事務所雨量観測所)

最大日雨量: 143mm

時間最大雨量: 27mm

切通川 北茂安町中津隈



県道北茂安三田川線(中津隈橋)
(みやき町中津隈)

切通川 破堤状況

平成14年9月16日～17日
(秋雨前線豪雨)

(鳥栖土木事務所雨量観測所)

最大日雨量: 165mm (同観測所既往第5位)

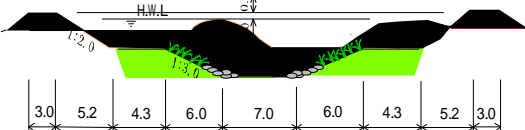
時間最大雨量: 63mm (同観測所既往第2位)



切通川広域河川改修事業 着手年: 昭和50年度
事業地: 神崎市、みやき町、上峰町



標準横断面図



○事業概要

- ・全体事業費
13,000百万円
- ・事業期間
S50～H45
- ・改修延長
11,200m
- ・計画流量
190m³/s
- ・計画治水安全度
1/50
- ・掘削・築堤・護岸、橋梁14橋
堰8基
- ・費用対効果
8.0

事業進捗状況



○事業進捗状況

- ・筑後川合流点から中津隈橋下流までの約9.0kmについて、暫定改修(1/30計画)が完了している。
- ・平成29年度進捗率 85%(事業費ベース)。
- ・年平均進捗率 2.0%

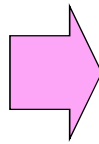
— 暫定改修完了区間
— 未完了区間

下流部完了区間状況

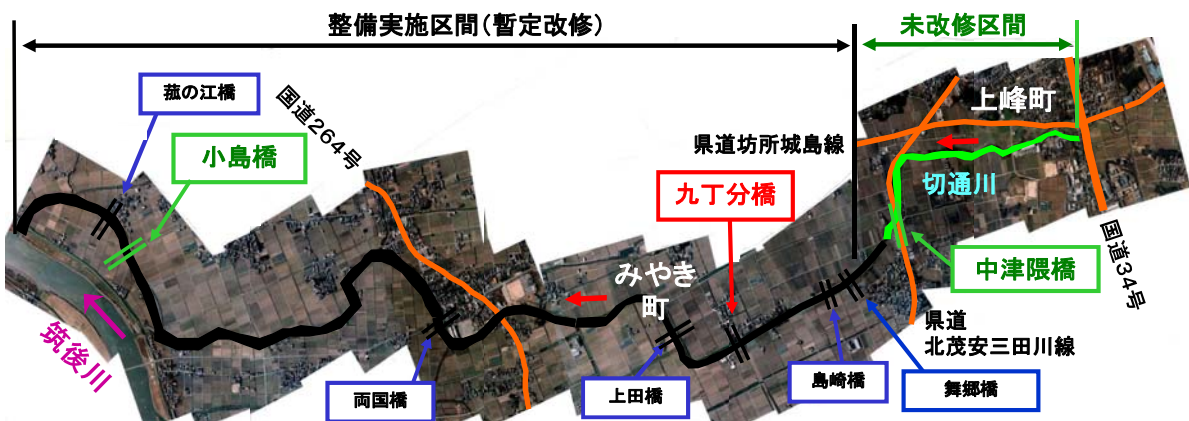
九丁分橋



改修前

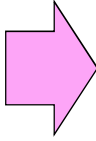


改修後



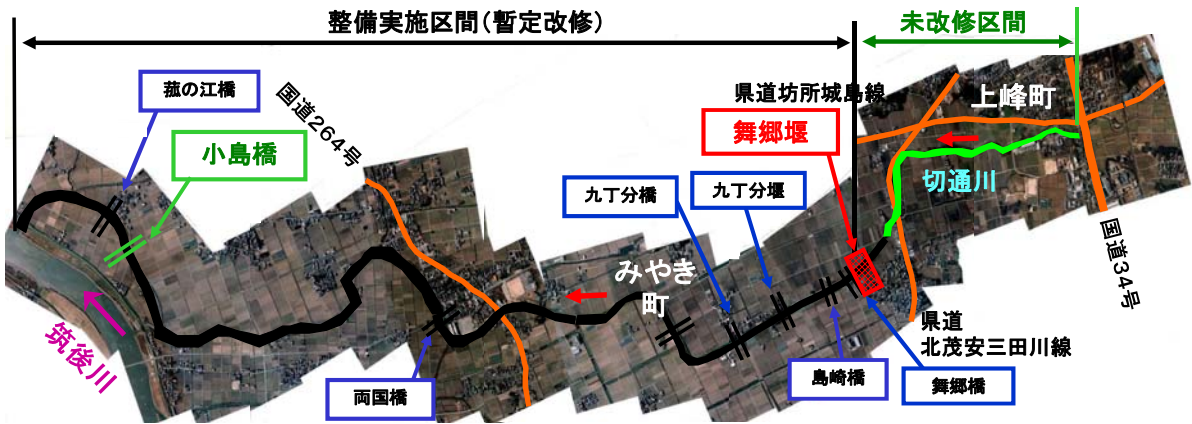
下流部完了区間状況

舞郷堰



改修前

改修後



上流部未完了区間状況



中津隈橋より上流を望む

多自然川づくりの状況

- 河川幅を拓げることで、これまで狭く、単調だった流れに自然な蛇行が生まれ、瀬と淵が創り出されており、水生生物の良好な生息環境になっている。またそれらを餌とする鳥類等も確認されている。
- 水際には捨石を配置することで、洪水時等の小魚の隠れ場所となる。



改修後の河川



H31年時点の河川

事業を巡る社会情勢等の変化

○特になし

費用対効果の要因の変化

資産数量(世帯数)及び家屋評価単価の増加によりBが増大しB/Cの増

総費用額C: 治水施設の整備及び維持管理に要する費用
(建設費、維持管理費(※事業完了後50年間))

総便益額B: 治水施設整備によってもたらされる総便益額(被害軽減額)

・一般資産被害(家屋、事業所等)	104,877百万円
・農作物被害(水稻、畑作物等)	4,098百万円
・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁等)	177,661百万円
・間接被害(事業所の営業停止被害、清掃費用等)	13,076百万円
・残存価値	56百万円

総費用C: 37,521百万円

総便益B: 299,768百万円

⇒費用対効果

$$B/C = 299,768 / 37,521 = 8.0$$

コスト縮減や代替案等の可能性

- コスト縮減
再生材の積極的利用
建設副産物の有効利用
- 代替案の検討
特になし

対応方針(事業課案)

河川改修の効果

- ①治水安全度の向上
- ②平成2年7月洪水による
浸水被害 127戸
浸水面積 270ha の軽減
- ③地域住民の安全・安心な暮らしに寄与

今後の事業展開

- ・事業を継続し、早期完成を図りたい